

社協だよりなかつ

2月号 2023
no.85



〒871-0021 大分県中津市沖代町1丁目1番11号 中津市教育福祉センター内
代表 TEL0979-24-4294 FAX0979-24-7682 <http://www.nakatsu-s.or.jp/>

令和5年2月号 第85号
発行元：中津市社会福祉協議会



わいわいまつりで積み木遊びをする男の子。このマグネット積み木は三光児童館に常設されています。

くさんの方々に楽しんでいただけました。

普段の生活中ではあまり関わることのない皆さんとの「ごちゃまぜ」な一日は、お天気にも恵まれ、子どもから高齢の方までたくさんの方に来場いただきました。

令和4年11月、コロナ前まで実施していた「みんなのふくしまつり」を、コロナ禍を経て新たなカタチで継続して開催していくよう「シン・みんなのふくしまつり」と題して開催しました。

今年度のテーマは、SDGs・ダイバーシティ・インクルージョン。性別や年齢、国籍や文化、価値観などの多様性を認め合うこと、お互いを受容しようをテーマに、音楽・文化歴史・アート・アウトドアなど、様々なジャンルを「ごちゃまぜ」にした福祉啓発イベントを開催し、子どもから高齢の方まで約400名の方に来場いただきました。

令和4年度秋～冬にかけて、中津市社会福祉協議会では様々なイベントを開催しました。

それぞれ内容は違いますが、「いろいろな世代の人や生活状況も異なる人が、誰でも気軽に参加できることで、つながりづくりになる」という共通の目的のもと、開催しました。

だれもが参加でき、お互いを認め合う地域へ

シン・みんなのふくしまつり

『ごちゃまぜ nicoday』

にこでー



受付のようす



パラコードブレスレットの
ワークショップ



ウクライナの方による
ネイルアート



自分の描いた絵が泳ぐ!
「お絵描き水族館」



青空の下でパークヨガ



「男塾」受講生による
珈琲のふるまい



東九州龍谷高校食物科による
豚汁のふるまい



deep+によるジャズの演奏



三宅農園音楽部による
バイオリン演奏



カレーライスセットのふるまいは毎年大盛況



お正月に向けて杵つき餅 東九州龍谷高校の生徒も一生懸命!



温かい珈琲の提供 ほっとひと息♥



Sing in English♪ パネルシアターのようす

プレーパークでは、東九州龍谷高等学校の生徒さんや、中津レクリエーション協会の皆さんとの協力のもと、餅つき体験を行われました。

フードバンクに寄付いただいたていたもち米30kgを使って、子どもから大人まで多くの方に体験していただきました。お正月を目前にした杵つきもちは大好評でした。

まんぱくニコキッチン & フードパントリー

令和4年12月、「まんぱく」をテーマに、地域にお住まいの皆さんや地元企業よりいただいた食料品を使用して、今回で年目となる「ニコキッチン」とフードパントリーを開催し、約250名の方に来場いただきました。物価の上昇により生活に影響があると感じている方が多くいらっしゃる中、少しでも温かい気持ちになつていただければとの思いで開催しました。

ふるまいコーナーでは、毎年恒例のカレーライスや寄せ付いただいたdezertに加え、ボランティア養成講座「男塾」で珈琲講座を受講した方々による淹れたて珈琲の提供を行いました。見て楽しむコーナーでは、坂本美紀先生によるENGLISH SINGパネルシアターを上演し、歌って楽しむ英語を学びました。サプライズでサンタクロースも登場し、プレゼントを渡すと、会場はなぎやかな歓声に包まれました。

三光児童館
25周年記念

わいわいまつり 一つながろう未来へ



三光中吹奏楽部の皆さんによるオープニング演奏



移動水族館では本物のペンギンも来ました



工科短大の皆さんとの協力でオリジナル缶/バッジづくり



タッチプールのサメにドキドキ

令和4年11月、三光アートセンターにて、三光児童館25周年を記念して、「わいわいまつり」を開催しました。当団は450名を超える皆さまの参加があり、三光中学校吹奏楽部の演奏を合図に各コーナーがスタート!モノづくりコーナーでは思い思いに木工や缶バッジを作成し、防災・非常食体験や車いす体験もできる体験コーナー、巨大なオブジェを作った積み木コーナーや縁日コーナーでは射的・輪投げを老若男女問わず楽しんでもらいました。うみたまごの協力による移動水族館では、ペンギンの仕草に笑みがこぼれたりと、改めて人とひととのつながりを感じる一日となりました。

令和4年10月から12月まで
全国各地で共同募金運動（赤い羽
根共同募金、歳末たすけあい募
金）が展開されました。市内に
おいても長引くコロナ禍の中、
多くの市民の皆様、企業の皆
様、関係団体の皆様方にご協力
を賜り誠にありがとうございました。
した。

特に印別募金においては、自
治委員の皆様、法人（企業）募
金においては民生委員・児童委
員の皆様に募金活動へのご理解
ご協力をいただき、心よりお礼
申し上げます。

募金は全額を大分県共同募金
会へ送り、全国や県へ配分した
のち中津市に配分を受けることと
なり、事業へ配分を行ひ、市内の
ます。今後とも皆様のご協力をよ



赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金
歳末たすけあい運動

毎年数多くの企業の皆様にご協力頂
きましてありがとうございます。戸別
募金等につきましては次号にて報告さ
せていただきます。

特に別募金においては、自治委員の皆様、法人（企業）募金においては民生委員・児童委員の皆様に募金活動へのご理解と協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

募金は全額を大分県共同募金会へ送り、全国や県へ配分したことの中津市に配分を受けたことによる活動や事業へ配分を行い、市内の皆様へます。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

募金は全額を大分県共同募金会へ送り、全国や県へ配分したのち中津市に配分を受けることになり、事業へ配分を行い、市内のはじめます。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

大分県共同募金会 中津市共同募金委員会
会長 松下 太

令和4年度 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動
（）皆様のご協力ありがとうございました

- ◇吉岡硝子店(有)
- ◇有ハルニキ
- ◇村上記念病院
- ◇吉岡クリーニング店
- ◇NS情報システムズ(株)
- ◇西畠法律事務所
- ◇なかつ情報通信開発センター(株)
- ◇金枝はり灸治療所
- ◇丹羽茶舗
- ◇若竹屋

北堀川町 北堀川町
古金谷 古金谷
桜町 桜町
米町 米町
寺町 寺町
角木 角木
櫻町 櫻町
小祝中島町 小祝中島町
萱津町 萱津町
小祝港町 小祝港町
小祝 小祝

多様性…むずかしく考えていませんか？

最近よく耳にする「ダイバーシティ=多様性」について皆さんはどんな風に捉えているでしょうか？現在日本で生活している外国の方々は、日本全体で約296万人（R4年6月末時点・厚労省発表）とされており、永住・技能実習・留学・仕事の転勤など在留理由は様々です。令和4年11月、シン・みんなのふくしまつりに参加したフィリピン・ウクライナの方々と中津市内にお住まいのインドネシア・ボリビアの方々にいろいろなお話を伺いました。

イベントに参加して一番驚いたのは、スケジュールが全て時間通りに進んでいたこと。フィリピン人はのんびりしているので本当にびっくりしました。お昼に食べた豚汁は豚肉とたっぷりの野菜が入っていて、郷土料理のシニガンスープに少し似ているかな。フィリピンは一年中暖かいけど、こちらの冬はかなり寒くて大変です……。

シン・みんなのふくしまつり参加



日本のケーキは甘さがちょうどいいからたくさん食べられる♡

フィリピン

左：エレインさん
右：ロシェルさん

去年の11月から中津にきました。職場の友人の紹介で「日本語教室きらきら」に通っています。

インドネシアと日本の違いといえば料理の味付け。インドネシア料理は全体的にスパイスが効いていて辛いですよ。日本の料理は甘く感じることが多いかな。それから私はムスリム（イスラム教）なので、アルコールと豚肉を口にしません。

今の目標はJLPT^{*}1級に合格すること。合格すると母国で出世できて、通訳として活躍する人もいるので一生懸命勉強しています！

※JLPT:日本語能力試験



習った日本語と違う…
だけど中津弁も覚えたい！

プリヤナさん
インドネシア



フィリピン出身のロシェルさんは「ダイバーシティ（多様性）」を『for everyone=みんなのための』と訳してくれました。多様性という言葉だけを見ると、自分には関係がない、むずかしくてよくわからないと避けてしまうかもしれません。でも、同じ時代を生きる私たちが一人ひとり違う多様な人間であることは、実はとても身近なこと。『みんなのための〇〇』という考え方には、国籍・文化・育った環境・言語・思考・年齢といった本当に色々な“あたりまえにある違い”を自然と受け入れられる表現な気がします。

P.2「シン・みんなのふくしまつり～ごちゃまぜnicoday～」関連記事

ウクライナではほとんどの女性が普段からネイルカラーするのが当たり前♪



ウクライナ

左：ネイリスト
イリナさん
右：主任児童委員
谷口さん

シン・みんなのふくしまつり参加

どこにいても、様々なことを抱えて生活しているのはみんな同じ。イベントで高齢の方や障がいのある方の絵画が展示されていて、日本には誰もが才能を生かせる場所があり、日本人はそのような人たちを応援する人が多いと思いました。

休憩中に食べたおにぎりやポン菓子がとても美味しかったです。豚汁も美味しかった！

ブエナス タルデス

Buenas tardes! こんにちは! 私たちはボリビア出身で、家族で日本に住んでいます。ボリビア人はコミュニケーションを大切にしていて、いつでもどこでも踊ったり歌ったり、もちろんお喋りもよくします。日本人は電車の中など公共の場ではお喋りせずに静かにしていますよね。

また、お昼休みが長いので(2時間)家に帰ってみんなで昼食を取ることも多いですよ。ちなみに公用語はスペイン語だけど民族の言葉が学校の必修になっていて、マスターしないと卒業できません。

ボリビア人はお祭りが大好き！



ボリビア

カツダさんファミリー
母：アディドリさん
娘：アミラさん
父：ロドルフォさん

ボランティア・市民活動センターだより

ホッとひといき 笑顔のひととき 「ボランティアカフェ」でつながる輪

ボランティアについてのしゃべり場「ボランティアカフェ」を初めて開催しました。心地よいBGMとコーヒーの香りがゆったりとした雰囲気を演出する中、現在ボランティア活動をしている方や興味のある方など8名が参加し、何気ない会話からボランティアに対する想いなど、1時間半にわたり色々な話で盛り上りました。

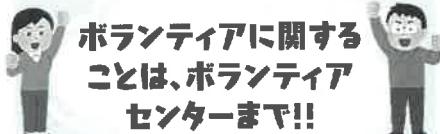
ボランティアカフェは、関心のある方々が気軽に交流できる機会として今後も定期的に開催する予定です。ボランティアに興味のある方はぜひ一度お越しください。



心安らぐ「こだわりの一杯」を目指して ～“男塾”珈琲講座～

令和4年12月、大幡コミュニティセンターで「“男塾”珈琲講座」を開催しました。喫茶カフェ「クラフト」の奥村氏を講師に迎え、15名の方がペーパードリップでの淹れ方のコツを学びました。講師の話にメモを取ったり実際に淹れる姿は真剣そのもの。焙煎度合いの違いも試飲して確かめながら、コーヒーの奥深さを学びました。

受講者の中には学びを活かして地域のサロンや社協のイベント等で振る舞ってくださる方もたくさんいらっしゃいます。これから皆さんますますの活躍を期待しています。



中津市ボランティア・市民活動センターは、ボランティアに関する情報提供や活動の調整、相談受付、講座の開催など、ボランティア活動の推進を目的とした取り組みをしています。

社協の事務所内にちょっとした談話スペースも設けています。ぜひお越しください♪

【問合せ】
中津市ボランティア・
市民活動センター
TEL 23-2095

令和5年度ボランティア登録 活動保険更新のお知らせ

3月20日(月)～3月31日(金)の期間で、令和5年度のボランティア登録更新・保険加入を受け付けます。ボランティア登録をされている団体・個人ボランティアの方は、期間内に手続きをすまされますようお願ひいたします。

尚、期間内の更新・加入が難しい場合は、ご相談ください。



**新規登録も
大歓迎!**

新たに登録をしたいと思っている個人・団体も大募集。現在やっている活動や特技を生かして「社会参加したい!」という方、ボランティア登録をして活動の場を広げてみませんか。お気軽にご連絡ください!



地域 福祉 情報

令和4年度 あんさんくフォローアップ研修 「聞こえと健康について」

令和4年11月、「あんさんくフォローアップ研修」を教育福祉センターにて開催し、19名の参加がありました。本研修は、「支え合いスタッフ養成研修」を受講し、社協にある人財バンク“あんさんく”に登録をしている方をはじめ、地域支え合いの活動に携わる方々の知識習得や意欲の向上を目的として開催しています。

今回は、耳の“聞こえ”について理解を深めるため、公益社団法人 大分県言語聴覚士協会 副会長 吉田玲子氏をお招きし、「聞こえと健康について」と題してお話をいただきました。聞こえる仕組みや聞こえづらい方に対して工夫できること、予防策など、映像やワークを交えながらとても分かりやすく教えてくださいました。

研修の最後には、普段の活動の中で上手くいかない事や悩んでいた事等を直接講師に聞くことができ、解決へ近づいたようでした。



公益社団法人
大分県言語聴覚士協会
副会長 吉田 玲子 氏

沖代校区“お宝探し”塾 1・2回目を開催しました！

令和4年12月、教育福祉センターにて“お宝探し”塾を開催し、沖代地区にお住まいの方や、福祉関係者合わせて約20名の参加がありました。

「お宝」とは、野菜のおすそ分けや近所でのお茶飲みなどのように、普段の暮らしの中にある何気ない支え合いのことで、暮らしの中にある「お宝」の大切さを学び、見つけ、その「お宝」を磨くためにみんなで共有することが“お宝探し”塾です。

1回目は、講師にご近所福祉クリエイター 酒井保氏をお招きし、健康と暮らしぶりの関係性、社会性や人とのつながりの重要性などを伝えていただき、地域での“支え合い”について改めて考える機会となりました。

2回目は、普段の暮らしぶりを振り返ることで、「お宝」についての理解を深める時間となりました。



「お宝探し」塾のようす



ご近所福祉クリエイター
酒井 保 氏



「食べることは 生きること」 食の大切さを実感！

市内の地域サロンの方々を対象とし、地域サロン同士の横のつながりづくり等を目的に令和4年度の地域サロン交流会を開催し、15名の参加がありました。地域サロンとは、空き家等で週1～2回、お話や食事を楽しむ「第2の我が家」のような場所で、市内には6か所あります。



交流会のようす



管理栄養士
高原 加津子 氏

当日は管理栄養士の高原加津子氏をお招きし、「食べることは 生きること」と題し、免疫力アップにつながる“ちょい足し食事”や、簡単な食事バランスチェック、食中毒予防のポイント等わかりやすくご紹介いただきました。明るい高原氏の人柄にふれ、参加者の方々も元気をいただいた様子でした。

講義後の交流会では、「食」に関するだけでなく、様々な情報共有の機会となり、参加者の方からは今後のサロンでも取り入れていきたいとの声をいただきました。

地域福祉情報

令和4年度 「支え合いスタッフ養成研修」

令和4年度の「支え合いスタッフ養成研修」を豊田公民館にて開催したところ、地域での支え合い活動に関心のある約20名の方が応募・参加くださいました。この研修は、「互いに助け合う気持ち」を基本とした住民同士の地域支え合い活動（ボランティア活動やサロン活動、住民型有償サービス活動など）の推進を目的として開催しています。住み慣れた場所に住み続けるためにも、地域の中での支え合い活動の重要性は年々高まってきています。

3日間コースの中で、「コミュニケーションと認知症理解」「生活支援のポイント」「健康ながらだづくり」について、演習や実技を交えながら学び、参加者同士で“支え合い”を考える貴重な機会となりました。



講師

- 【1日目】大田黒 勝洋 氏（だんらんグループ統括施設長）
- 【2日目】村岡 弘隆 氏（NPO 法人地域リハビリネットワークの会 代表理事）
後藤 文代 氏（社会福祉法人グリーンコープふくしサービスセンター みどりの風 管理者・サービス提供責任者）
- 【3日目】栗木 剛 氏（motto ひょうご 事務局長）

令和4年度 生活支援・介護予防を考える会「買い物支援を考える」～移動・外出支援部会～

教育福祉センターにて、「令和4年度 生活支援・介護予防を考える会 移動・外出支援部会」を開催し、タクシー・福祉タクシー会社、福祉専門職、民生委員、住民団体、社会福祉法人、調剤薬局、行政など高齢者支援や買い物支援に関わる約40名の方々がご参加くださいました。

今回の部会は、高齢者の生活支援と介護予防の推進のために、楽しみや主体性につながる外出である“買い物”について、関係機関で情報共有し、中津市の現状と照らし合わせながら考える機会となることを目的としています。

当時は、“買い物”に着目した外出支援について、先進的に取り組んでいる日田市の事業所の皆様に各取り組みについてお話をいただきました。「職種は違っても、行き着くところは皆同じであり、一緒に考えていく過程が大切」という言葉と共に、それぞれの立場で住民の困りごとに耳を傾け、何ができるのかを考え実践し、課題に対しては関係者間で共有する重要性をお伝えくださいました。



周明

「乗り合いデマンドタクシー」、
「お買い物サポート」について
イサゴタクシー株式会社
代表取締役 後藤 信寛 氏



「法人車両でのシャトル便運行」について

医療法人秋水堂 若宮病院
わかみやコミュニティケアセンター
主任地域相談員 金子 あゆみ 氏
理学療法士 道田 周明 氏



「お買い物無料送迎サービス」
について
日田市民生活協同組合
専務理事 後藤 哲也 氏



「日田市の現状」について
社会福祉法人平成会
特別養護老人ホーム花月園
日田市第1層生活支援コーディネーター
梶原 貴久 氏

地域福祉情報

令和4年度 中津市成年後見支援センター運営事業 権利擁護支援 専門職向け研修会を開催しました！

令和4年11月、中津市教育福祉センターにて、「家族の支援が得られない方への支援方法を考える～家族のいる・いないにかかわらず『その人らしい』生活を～」と題して、地域の中での相談窓口となり得る、居宅介護支援事業所や地域包括支援センター、小規模多機能型居宅介護事業所などの参加のもと開催しました。当日は32名の参加がありました。



大分あおば法律事務所
弁護士 田中利武氏

講師に大分あおば法律事務所 弁護士 田中利武氏をお招きし、実際に携わった事例などをご紹介いただきながら、家族の支援が得られない方への支援方法についてご講話いただきました。家族の支援が得られない方が確実に増えている今、どのような方々が直面する課題は何なのか、「その人らしい生活」を送るために支援者ができることは何なのかを、改めて深く考える機会となりました。

中津市社会福祉協議会では、権利擁護支援に関する広報普及啓発の一環として、住民向け、支援者向けの各種研修会を開催しています。また、成年後見制度における相談支援・利用支援・後見人等への支援、成年後見人等の受任者調整、市民後見人の養成・活動支援なども併せて行っています。



会場のようす



グループワークのようす

令和4年度 住民型有償サービス 「マネージャー研修」2回目

住民型有償サービス「マネージャー研修」の2回目を、市内全10団体のマネージャーを対象とし、中津市教育福祉センターにて開催しました。



今回は、地域共生社会の推進に大切な“お互いを知る”ために、中津市介護長寿課より「中津市の高齢者施策」について説明をしていただきました。地域で生活する方々と共に支えるために、関係する機関の役割を理解する必要性を学ぶとともに、マネージャーとしての役割も再確認することができ、“お互いを知る”ことでつながり合えることを実感する機会となりました。



中津市障がい児・者余暇活動支援事業てくてく「てくてくまつりwith防災」を開催しました！

令和4年12月、「中津市障がい児・者余暇活動支援事業《てくてく》」で、楽しみながら防災についても考えるイベント「てくてくまつりwith防災」を開催しました。

当日は80名の参加があり、「小さなおまつり」に家族で盛り上がり、「防災コーナー」ではスタッフに質問するなど熱心に見入っていました。今回は、「そなえちよこっと！プロジェクト（防災コーナー）」や「大分県立工科短期大学校（缶バッジづくり）」にもご協力いただき、皆さんに楽しんでいただくことができました。



わたあめづくり



ヨーヨーつけ



非常食体験



避難所でのベッド体験

「てくてく」は登録制です。一度見学してみませんか。
日 時：毎月1回、10時～12時までの約2時間

利用料：1回 200円

問合先：中津市社協 地域福祉課 TEL 23-2095

◎ ホームヘルパーに資格はあるの?
訪問介護をするためには、専門の資格や研修を修了していることが必要で介護に関する知識を学んだ専門職員がヘルパーとなっています。(次の資格のどれかを取得)
・介護福祉士・介護職員実務者研修
・介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級)

◎ ホームヘルプってなに?
在宅で暮らす介護が必要な状態にある主に高齢者への在宅サービスの一つで、正式名称は「訪問介護」、訪問するスタッフは「訪問介護員」といいますが、通称「ホームヘルパー」「ヘルパー」といい、聞いたことがある方も多いでしょう。現在、中津市内では31事業所あります。

訪問介護の歴史は他のサービスに比べて古く、昭和31年(1956年)に長野県で始まり、現在のかたちとなっています。

◎ ホームヘルプってなに?
在宅で暮らす介護が必要な状態にある主に高齢者への在宅サービスの一つで、正式名称は「訪問介護」、訪問するスタッフは「訪問介護員」といいますが、通称「ホームヘルパー」「ヘルパー」といい、聞いたことがある方も多いでしょう。現在、中津市内では31事業所あります。

介護保険サービス 豆知識 Q&A

第2回

ホームヘルプ編



◎ 主なサービス内容は?
ご利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるように、ヘルパーが自宅を訪問して身体介護や生活援助などを行います。
○身体介護 食事・排せつ・入浴などの介護等
○生活援助 掃除・洗濯・買い物・調理等
この他に、通院などを目的とした乗車・移送・降車の介助サービスを提供する事業所もあります。

※ ここに注意! 訪問介護では、次のサービスは受けないことがあります。

- ・ご利用者へ直接の援助に該当しないもの
(例) ご利用者の家族のための家事や来客の対応など
- ・日常生活の援助の範囲を超えるサービス
(例) 草むしり、ペットの世話、大掃除、窓のガラス磨き、正月の準備など

◎ 利用できる人は?
介護保険の認定を受けている「要支援1～2、要介護1～5の方、また介護保険の認定を受けない方で基本チェックリスト※に該当した方(事業対象者)が対象となります。
※ 基本チェックリストは地域包括支援センターで実施します。

◎ 利用料はどのくらい?
利用料金はサービス時間の長さ、事業所の所在地やサービス提供体制などによって違いますが。利用者負担は1割で、一定以上の所得のお方は2割または3割になります。

「事業対象者、要支援」の方は地域包括支援センターへ、「要介護」の方はケアマネジャーがいる居宅介護支援事業所に相談し、ヘルパー事業所を利用するか相談します。

1回あたりの利用者負担(1割)の目安

身体介護	20分未満	167円
	20分以上30分未満	250円
	30分以上1時間未満	396円
	1時間以上1時間半未満	579円
生活援助	20分以上45分未満	183円
	45分以上	225円
通院等乗降介助 ※要介護1以上のみ		99円

この基本費用に事業所の体制や所在地による加算がつくことになります。

◆ まずは相談してみたい!
お近くのヘルパー事業所や地域包括支援センターにお問い合わせください。わからない場合はこちらにもお問い合わせください。
中津市社協 在宅福祉課
TEL 53-22245

福祉避難所ってなに？



■「避難所」と「福祉避難所」の違いは？

- ・大きな違いは、**福祉避難所の利用が特定の人々に限定されていること**です。一次避難所とも呼ばれており、一般的の避難所とは区別されています。
- ・福避難所を利用するものは災害時要援護者、つまり「災害時に特別の配慮を要する人」です。
- ・災害時要援護者を受け入れる避難所であるがゆえに、一般の避難所とは異なる設備や機能が求められます。（原則としてバリアフリーの建物。そうでない場合、障がい者用トイレやスロープ等が設置されています）
- ・一般の避難所では、災害時に特別の配慮を要する人が前提）

■「災害時要援護者」とは？

- ①在宅で生活している要介護3以上の方、②寝たきりの高齢者、③認知症患者（日常生活自立支援度判定3以上）、④身体障がい者、⑤知的障がい者、⑥精神障がい者、⑦妊婦・乳幼児と母親等、⑧その他（介護者、外国人等）自ら移動が困難な方（※各福祉避難所により受入れ対象は異なる場合があります）

- ・福祉避難所の多くは、高齢者、障がい者施設など既存の施設が指定されていますが、人手不足の中、通常の入所者の支援と災害時要支援者の受け入れ体制が難しい。
- ・避難所と福祉避難所の指定は受けているものの、区分けが不十分。
- ・全国的に福祉避難所の指定は進んでいますが、運営面や人員体制、備品等の整備が進んでいないこともあります。

大分県・西部地区等総合訓練『福祉避難所運営訓練』を行いました



令和4年10月、教育福祉センターにおいて福祉避難所運営訓練を行いました。この訓練は、大分県・西部地区等総合訓練の一環として行われ、当事者の方を含む20名の「災害時要援護者」の受け入れを行いました。
①受付②ニーズ調査③避難スペースへの誘導④相談支援⑤支援物資の受け入れ・配布等、一連の流れを通じて福祉避難所としての課題や気つきを深め、実際に避難された方の声を基に、どのようないくつかの課題を検討しました。

避難訓練にご協力いただいた当事者の方々の“声”

妊婦・幼児

- ・子ども用便座があると良い
- ・プライベートが確保され、授乳の心配はないが声が筒抜けのため、子どもの声や走って迷惑をかけないか心配

発達障がい・知的障がい

- ・音や光に敏感な人に対する配慮が必要
- ・じっとしていられない時間もあるので遊びスペース等も必要
- ・物などを見せて具体的に説明しないと分かりづらい

車いす利用者

- ・3か所ある多目的トイレは排泄に時間がかかると重なる可能性がある
- ・簡易ベッドが軽く簡単に動いてしまうため、移乗時が怖い

令和4年度 災害ボランティア講座を開催します!

万が一の被災に備え、被災者支援を考える災害ボランティア講座を今年度も開催します。

対象：災害ボランティア協働ネットワーク会議へ参加実績のある企業や団体、各種関係機関
※定員40名

日時：令和5年3月11日（土）
13:30～15:30 参加費無料
場所：中津市教育福祉センター多目的ホール
講師：オフィス園崎 代表 園崎秀治 氏
問合先：中津市社協 地域福祉課
TEL 23-2095



食料品の無料配布を開催します！

常温で保存可能な食品を無料で配布します。QRコードを読み取って応募フォームからお申込みいただけます。電話にてお申込みください。

対象：中津市内に在住で、感染症等の影響で生活にお困りの方
※生活保護世帯は対象外となります。
ご了承ください。

日時：令和5年3月27日（月）
9:00～17:00
場所：中津市教育福祉センター
問合先：中津市社協 地域福祉課
TEL 23-2095



電子申請

春休み中のアルバイト募集しています！

対象：児童の見守りや遊びの支援などをしていただける方（18歳以上）

場所：下記いずれかの場所

【三光】真坂児童クラブ、山口児童クラブ、株児童クラブ、
三光児童館

【耶馬溪】城井児童クラブ

期間：小学校の春休み期間中 3月25日（土）～4月12日（水）

時間：8:30～17:30



期間中の勤務日数・勤務時間等はご相談に応じますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

問合先：中津市社協 福祉サービス課（池田）TEL 27-7715



ボランティアって何だろう？

ボランティアの語源ともいわれるラテン語の「volo（ウォロ）」には、「進んで～する」「喜んで～する」という意味があります。つまりボランティアとは、自分の心に湧き上がる「（誰かのために何かを）やりたい！」という気持ちが大切な活動です。ボランティア活動の大切なポイント（4原則）は、①自分から進んで行動する「自主性・主体性」、②ともに支え合い、学び合う「社会性・連帯性」、③見返りを求めない「無償性・無給性」、④よりよい社会を作る「創造性・開拓性・先駆性」です。



ボランティア活動には一人でもできることや趣味・特技を生かしたもの、地域づくり、環境、文化、人への支援など様々なカタチがあり、温かい気持ちのやり取りや発見、やりがいといったプライスレスな魅力があります。できること、興味のあることから始めてみませんか。